

救命処置の手順(AEDの使用)

心肺蘇生法を行っている途中で、AEDが届いたら、すぐにAEDを使う準備をします。AEDにはいくつかの種類がありますが、どの種類も同じ手順で使えるようになっています。AEDは電源が入ると音声メッセージとランプで、あなたが実施すべきことを指示してくれますので、落ち着いてそれに従ってください。

1 AEDを傷病者の横に置く



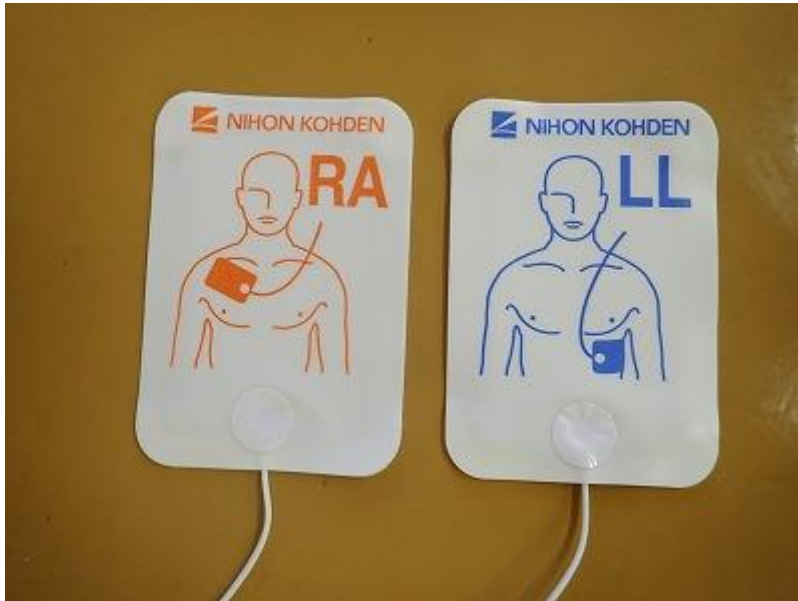
AEDを傷病者の横に置きます。ケースから本体を取り出します。

2 AEDの電源を入れる



AEDのふたを開け、電源ボタンを押します。ふたを開けると自動的に電源が入る物もあります。電源を入れたら、以降は音声メッセージとランプに従って操作します。

3 電極パッドを貼る



傷病者の衣服をぬがせ、胸をはだけます。電極パッドの袋を開封し、電極パッドをシールから剥がし、粘着面を傷病者の胸部にしっかりと貼り付けます。貼り付ける位置は電極パッドに絵で表示されているので、それに従ってください。



電極パッドは、右前胸部（右鎖骨の下で胸骨の右）及び左側胸部（脇の5～8cm下）の位置に貼り付けます。電極パッドを貼り付ける際にも、できるだけ心臓マッサージ（胸骨圧迫）を続けてください。電極パッドと肌との間に隙間を作らないよう、しっかりと貼り付けます。（アクセサリーなどの上から貼らないように注意します。）

4 心電図の解析



電極パッドを貼り付けると「体に触れないでください」などと音声メッセージが流れ、自動的に心電図の解析が始まります。このとき、「みなさん、離れて！」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認します。

5 電気ショック



AEDが電気ショックを加える必要があると判断すると「ショックが必要です」などの音声メッセージが流れ、自動的に充電が始まります。充電には数秒かかります。

充電が完了すると、「ショックボタンを押してください」などの音声メッセージが流れ、ショックボタンが点灯し、充電完了の連続音が流れます。充電が完了したら、「ショックを実行します。みんな離れて！」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認し、ショックボタンを押します。

(ポイント)

ショックボタンを押す際は、必ず自分が傷病者から離れ、さらに誰も傷病者に触れていないことを確認します。

6 心肺蘇生法を再開

電気ショックが完了すると、「直ちに心臓マッサージ（胸骨圧迫）を開始してください」などの音声メッセージが流れますのでこれに従って、心臓マッサージ（胸骨圧迫）を再開します。心臓マッサージ（胸骨圧迫）30回、人工呼吸2回の組み合わせを続けます。

7 AEDの使用と心肺蘇生法の継続

心肺蘇生を再開して2分ほど経ったら、再び、AEDが自動的に心電図の解析を行います。音声メッセージに従って傷病者から手を離し、周りの人も傷病者から離れます。以降は、心肺蘇生とAEDの使用の手順を、約2分間おきに救急隊員が到着するまで繰り返します。